

「衛星ネットワーク解析を活用した『自然資本』としての水産資源への貢献」

令和5年1月18日（水）、表題の特別研究会をオンライン（teams）にて開催しました。

現在、衛星ネットワークを使った様々な技術が発展しています。その一つである、Global Fishing Watch（GFW）は海洋上の船舶が発する信号から漁船の位置や操業状況を特定し、サイトで公開されています。これらの情報を使い、違法操業の取締り、持続可能な資源管理、漁業行動メカニズムの解明など幅広い分野においての応用が期待されています。

そこで、本研究会では、GFWによる海洋可視化によって、水産資源を地域共有の「自然資本」としての活用する可能性について紹介しました。報告演題は、以下のとおりです。

・「テクノロジーを活用した『自然資本』としての水産資源への貢献」

馬奈木俊介（九州大学 都市研究センター長・主幹教授）

・「海洋可視化と地先漁業権の展開－水産資源の地域共有『自然資本』とする可能性」

石村学志（岩手大学 農学部 准教授）

・「衛星ネットワークと機械学習を使った大規模市場取引データでの海洋可視化」

阿部景太（武蔵大学 経済学部 准教授）

・「遊漁船から得られた釣獲情報の資源動態モデルへの適用可能性－東京湾のスズキを事例に」

丸山優樹（農林水産政策研究所 食料領域 研究員）

当研究所のみでなく、水産庁をはじめ関係団体にも聴講いただき、活発な質疑応答がなされました。



（左上）馬奈木教授 （右上）石村准教授
（左下）若松主任研究官（司会）（中央下）丸山研究員
（右下）阿部准教授

研究活動一覽

（令和4年度）

「研究活動一覽」は、当研究所員の研究活動と研究内容や関心分野を、読者の皆様に提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては、直接担当研究員までお問い合わせください。

①研究論文および雑誌記事等

1. 学会誌

著者名（共著者を含む）	表 題	発表誌等	巻・号	発表年月
吉田真悟	農業法人によるESG関連活動と経営発展	農業経営研究	60（1）	2022.4
佐々木宏樹 平原誠也 松山晋 森田浩史 鈴木貴裕	モバイルアプリを用いた「ソーシャルスコア」導入が農村地域へ及ぼす影響－宮崎県綾町におけるソーシャルキャピタル及び主観的幸福度を指標とした因果分析－	農業経済研究	94（1）	2022.6